

【簡易版】横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP1段階：新卒・新任】

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1 『できない』
 2 『指示や確認がないと行動できない』
 3 『促しがあれば行動できる』
 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5 『できる』

| | | 回(月 日) | | | |
|----------------|--|--|-----|------|-------|
| 能力 | 小項目 | CDP1(訪問看護ステーションの基本的機能・役割を知り、スタッフとして同行訪問できる) | 未経験 | 自己評価 | 育成者評価 |
| | | 新卒・新任 | | | |
| 【精神】看護サービス実践能力 | 在宅看護過程 | 対象者・家族に対し自身の侵襲性を自覚し、適切な距離感を持つ必要性が分かる | | | |
| | | 対象者の訴えを否定せず聞き、あるがままを共感を持って受け入れ時間を共有できる | | | |
| | | 関係性を構築することの大切さを知る | | | |
| | | 自身が対象者に対する実践や感情を自覚し、事業所内で発言することで自身の感情を意識できる | | | |
| | | 対象者の生活を支えるために把握すべき情報は何か分かる | | | |
| | | 対象者が主体的にできることを把握し、その背景を理解することができる | | | |
| | | 思考、知覚の障害、意欲低下、不安、自殺念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠、幻覚妄想など一般的な精神症状を理解し対応方法がわかる | | | |
| | | 対象者の精神症状や身体疾患、本人の受け止め(病感)について理解し、支援方法や対応方法がわかる | | | |
| | | 対象者の精神症状がどの程度生活に影響しているのかを考え、現在のセルフケアレベルの把握と不足が生じた要因について考えることができる | | | |
| | | 定時薬・頓服薬の作用と副作用を理解し、先輩看護師の助言を得ながら観察・対応することができる | | | |
| | 対象者の精神面、身体面の状態悪化の要因を把握・理解し、自傷他害や緊急性のある状態を発見した場合は先輩看護師の指示に従って行動できる | | | | |
| 社会資源 | 医師をはじめ、対象者に関わる関係職種・ケアチームを把握する | | | | |
| | 非薬物療法(グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等)のそれぞれの特徴や意味について理解できる | | | | |
| | 社会福祉制度や地域の関係機関(相談支援機関や保健福祉行政など)について知る | | | | |
| 家族支援 | 対象者の家族内での役割や家族内の勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握できる | | | | |
| 教育研究能力 | 自己啓発・自己学習 | 精神科訪問看護基本療養費の届け出要件を満たす研修を受ける | | | |
| | | 精神保健福祉法の目的を理解できる | | | |

【簡易版】横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP2段階:一人立ち】

評価基準:各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

| | | CDP2(訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる) | 未経験 | 自己評価 | 育成者評価 |
|-----------------------|--|---|-----|------|-------|
| 能力 | 小項目 | 一人立ち | | | |
| 【精神】看護サービス実践能力 | 在宅看護過程 | 対象者・家族に対し適切な距離感を持つ必要性を理解し、訪問できなくても肯定的なフィードバックや意図的に気にかけていることを伝えることができる | | | |
| | | 対象者と家族や関係者に関心を示し続け、両者を尊重しつつ、看護職として寄り添い、伴走者としての思いでかかわることができる | | | |
| | | 関係性を保つことの難しさを知る | | | |
| | | 自身が実践の振り返りや対象者に対する感情を表現し、他者の助けを得ながら課題を明確にし適切に対処したり次に活かすことができる | | | |
| | | 対象者・家族に関する情報からニーズを捉え、主体的にできることが増やせるよう生活に密着した支援を考えることができる | | | |
| | | 対象者の状態変化について、原因・きっかけに基づいて整理し、対象者ができるセルフケアについて見出せるよう支援できる | | | |
| | | 精神面へのアプローチの一環として、身体疾患のケアの重要性を理解し必要な療養上の支援を実践できる | | | |
| | | 対象者との関わりから精神状態とセルフケアレベルをアセスメントし、対象者の個別的な生活支援(栄養・保清・睡眠など)を含めた看護計画を対象者と共に作成することができる | | | |
| | | 対象者の生活や個別性に合わせた薬物療法の援助ができる | | | |
| | | 精神面や身体面の状態悪化時や緊急性のある状態を発見した場合、緊急訪問の要否についての相談や応援を呼んで自立して対応できる | | | |
| 社会資源 | ケアチームの中で連携を取り、円滑な関係を構築できる | | | | |
| | 非薬物療法(グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等)が対象者にとって効果的であるかを検討することができる | | | | |
| | 社会福祉制度や地域の関係機関(相談支援機関や保健福祉行政など)に対し、対象者の支援について相談できる | | | | |
| 家族支援 | 対象者・家族各々の思いを率直に表出できるよう、意図的に一緒に過ごしたり別々に関わるなどの工夫ができる | | | | |
| 教 育 力 研 究 | 自己啓発・自己学習 | 人権、倫理、権利擁護について学ぶ | | | |

【簡易版】横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP3段階：一人前】

評価基準：各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

| | | 回(月 日) | | | |
|---|---|---|-----|------|-------|
| 能力 | 小項目 | CDP3(訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる) | 未経験 | 自己評価 | 育成者評価 |
| 【精神】看護サービスマス実践能力 | 在宅看護過程 | 一人前 | | | |
| | | 対象者・家族に対し適切な距離を保ちつつ、どのような状況にあらうとも、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるように、根気強くかかわることができる | | | |
| | | 対象者と家族や関係者のできていることや、わずかな変化に気づくことができる | | | |
| | | 関係性を構築し、良好に維持することができる | | | |
| | | 自身の強みや弱みを理解し、対象者に対する自身の感情をコントロールしながら、実践の根拠や自身の反応について振り返りを行い、他者と共有しながら看護実践の向上につなげることができる | | | |
| | | 各々の関係性を理解した上で意図的に収集した情報を統合してニーズを把握し対象者が継続して主体的に実践できるよう、ケアの工夫や社会資源、既存制度の導入を検討することができる | | | |
| | | 対象者・家族の希望に添えないときでも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる | | | |
| | | 対象者自身が精神症状をセルフコントロールしながら、自分の力や課題、置かれている環境を意識して行動できるようかかわることができる | | | |
| | | 身体疾患の状況をアセスメントし、理解度や対処能力を考慮したうえで対象者と共にケアし、自立に向けた課題を明確にすることができる | | | |
| | | 精神・身体の両側面から今後起こる可能性のあることを予測して対処方法について実施できる | | | |
| | 対象者の回復に影響を与えている精神的な要因をアセスメントし、セルフケア不足だけではなく健康的な力も見出したうえで生活面及び精神面の自立にむけた看護を展開できる | | | | |
| | 対象者や家族や関係者の定時薬・頓服薬に対する思いを確認しながら適切な使用ができるようセルフケアを支援できる | | | | |
| | 精神面や身体面の状態悪化時や緊急性のある事態が予測された際に、緊急訪問の要否及び未然に防げるよう対応と、緊急事態には、他スタッフを指導しながら対応できる | | | | |
| | 社会資源 | ケアチームの中で対等な関係を構築し、目標に向かって協働できる | | | |
| | | 非薬物療法(グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等)を理解し、対象者にとって適切な方法を検討して対象者・家族に説明して導入することができる | | | |
| 社会福祉制度や地域の関係機関(相談支援機関や保健福祉行政など)について、対象者の生活のサポートに必要な資源を紹介できる | | | | | |
| 家族支援 | 対象者や家族個々の健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた目標を立て、根気強く介入することができる | | | | |
| 究教 能力研 | 自己啓発・ 自己学習 | 他事業所と交流し、様々な支援方法や知識を得る | | | |
| | | 自身の看護実践を事例としてまとめ、報告できる | | | |

【簡易版】 横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP4段階：中堅】

評価基準：各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1 『できない』
 2 『指示や確認がないと行動できない』
 3 『促しがあれば行動できる』
 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5 『できる』

| 能力 | 小項目 | CDP4(利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる) | 未経験 | 自己評価 | 育成者評価 |
|------------------|--|---|-----|------|-------|
| | | 中堅 | | | |
| 【精神】看護サービスマス実践能力 | 在宅看護過程 | 対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者自身を理解し、自己決定ができるようにかかわることができる | | | |
| | | いかなる状況であっても相互に目標を共有し、実施・評価する際に対象者らの参加を促し、かかわりを続けることができる | | | |
| | | 対象者との関係性を俯瞰的にみて、後輩指導に生かすことができる | | | |
| | | 実践のなかで起こる自己や他者の反応を客観的に捉えて意味づけ・言語化し、適切な看護につなげることができる | | | |
| | | 対象者が精神症状・能力に合わせた生活が送れるように、よき理解者としてかかわることができる | | | |
| | | 身体疾患に対するケアを、家族や関係者、多職種の協力を得て、対象者が実施できるよう支援ができる | | | |
| | | 対象者のセルフケア不足を補い、真のニーズを満たすことができるような環境整備ができる | | | |
| | | 必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるような環境づくりができる | | | |
| | 社会資源 | 不測の事態にも他スタッフを指導しながら対応でき、客観的に状況を把握して、多職種チームの采配ができる | | | |
| | | ケアチームと協働し、チーム全体の調和を図りながら課題解決できる | | | |
| 家族支援 | 必要な関係機関等と連絡を取り、日常・緊急時を問わず、連携した対応の体制が取れる | | | | |
| | 多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性を共に考えることができるように関わることができる | | | | |
| 教育研究能力 | 自己啓発・自己学習 | 日々の実践から職場で研修・学習の機会を提供できる | | | |
| | | 先行研究に照らし自身の看護実践を事例としてまとめ、研究として発表できる | | | |

【簡易版】横浜市訪問看護師【精神看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP5段階:達人】

評価基準:各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は〇をつけ、
 その他は自己評価に1~5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

| | | | 回(月 日) | | |
|---------------------------------|--------|---|---|------|-------|
| 能力 | 小項目 | CDP5(訪問看護の質の向上に関わり、リーダーシップをとることができる) 達人 | 未経験 | 自己評価 | 育成者評価 |
| 【精神】 看護サービス実践能力 | 在宅看護過程 | 対象者と看護職の相互作用によって自律に向けた関係性を築き、次の段階・支援につなぐことができる | | | |
| | | 感情コントロールが必要な場面で教育的な役割がとることができる | | | |
| | | 看護過程を自らがロールモデルとなり行動で示せる | | | |
| | | 対象者の健康的な力を生かし、セルフケアを継続できる地域社会の実現について考えることができる | | | |
| | | 緊急事態に対応する地域のネットワークを構築したり、連携・強化できる | | | |
| | 社会資源 | 課題解決や協働のプロセスから、チームメンバーの役割を評価し、ケアチームの成功した実践を一般化し、共有できる | | | |
| | | 対象者と家族や関係者が安心して楽しく過ごすことができる居場所の提供を行う | | | |
| | | 関係機関が連携して行った対応について関係者へフィードバックを行い、今後の支援に生かすことができる | | | |
| | 家族支援 | 中堅以下のスタッフに対し、対象者・家族へのかかわり方の相談やサポートができる | | | |
| | 教育研究能力 | 自己啓発・自己学習 | これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流ができる | | |
| 後輩看護師の看護実践を研究としてまとめるプロセスの支援ができる | | | | | |